

功労賞 個人5名を表彰

グループわ の令和元年度功労賞に選ばれた個人5名が第16回定期総会で表彰されました。表彰式には選ばれた5名全員が出席。水町理事長から「長年にわたってボランティア活動に励み、グループわ の発展に貢献されました」と感謝の言葉があり、表彰状と副賞が手渡されました。その後、皆さんの活動ぶりがパワーポイントで紹介されました。



受賞された皆さま（順不同、敬称略）

- ①長谷川雅江（福祉 9期）②南形 公子（福祉 13期）
③堤 健（生環 9期） ④内藤宜子（福祉 13期）
⑤中村 宏栄（福祉 9期）

仲良し学級に向き合って

福祉13期 南形 公子

KSCに入学した直後、学習支援を依頼され、気軽に始めた。コミュニケーションの全く取れない子供に接し、呆然！早速「つみき」という訓練校に通った。たくさんの親子に圧倒された。大小を教えるのに、新聞紙で大きなボール（70センチ位）を作り、「大きい」と100回以上言って「大」を教える。次に小さいボールを作り同じように「小」を教える。すべての概念を教えるのに途方もない時間とプロセスが必要だった。目に見えない障害の重さに打ちひしがれた。ある程度理解したつもりでも、一人一人違う対応が必要で、今でも戸惑うことも多いが、寄り添うことの大切さを教えられた。自分も成長させてもらったと思う。このような、機会を与えて下さった当時のグループわ の先輩たちに感謝しています。



子ども達から力をもらった！ 福祉9期 長谷川雅江

カレッジに入るまでは全くボランティアに無関心だった私が今は「なかよし学級」の子供たちとの時間が増えてきています。子供たちは1人1人が素敵な個性を持っていますが心を開いてくれるまでには少し時間が必要です。でも、心を開いてもらえた時の嬉しさは言葉になりません。信頼関係の成立！！“ヤッターこれからも頑張るぞ〜”と言える大きな力をもらいました。



今、彼方此方でボランティアの後継者不足が起きています。頑張らずに出来るボランティアへの一歩を踏み出してくださいとうれしいです。きっと良い出会いがあるかも！

地域で恩返しを続けたい

生環9期 堤 健

シルバーカレッジの『再び学んで、他のために』に共感し、リタイア後の林住期をボランティア活動に重点を置いてやってきました。特に東灘の地域は「梅は岡本、桜は吉野・・・」と詠われるほど有名な地域でした。その梅の復活を求めて活動を続けてきました。その中で地域の皆様とつながり、フレマチの情報化支援、こども活動の支援、婦人活動の支援など幅広く「梅一つ火会」として貢献してきました。



梅一つ火会→<https://www.us3.jp/souryu/umehitotsu-bikai/>合せて、自然共生都市「こうべ」づくりを、しあわせの村の「いきもの会議」の活動を通じて支援しています。

わ 功労会員表彰を受けて

福祉13期 内藤 宜子

功労会員に推薦すると区会長の細野さんに聞かされたときは、思ってもみなかったことなので止めてとお願いしました。須磨パティオのお買いものサポーターでお世話になっている田路さんが内々に聞いたと喜んでくれて、やっと受賞を決めました。当日まではドキドキでした。一途な性分で、まじめ以外に取得のない私でも区会のお手伝いを続けてこられたのは、周りの皆さんの支えのお蔭と心から感謝しております。



むかしあそび研究会

福祉9期 中村 宏栄

日本の昔の遊びを自分の知っている範囲で伝えたらと思っていました。私等の少年時代は戦後の何もない時代でした。それでも草木や古新聞などで遊んでいました。自分で作った物で遊ぶ楽しさを知り、壊れたら自分で修理して、大事にしていました。



今は何でもある時代ですが、自分で作った物で遊ぶ楽しさを少しでも感じてくれたらと思い、子ども等に作りやすいように材料を揃えてやり、作る順序や道具の使い方を教えています。作って調子よく遊べた時のこどもの笑顔を見るのが楽しみです。